



ふくしまナラティブ・スコラ

ふくしまナラティブ・スコラは高校生向けのプレゼンテーション講座です。

「ナラティブ」とは、聞き手に想いを伝える話術、特に一人ひとりが主体となって語る表現技術のこと。

「スコラ」とは「学問の技法」や「思考の過程」を意味する言葉です。

発災当時、幼かった今の高校生には、福島で生きてきた経験が一人ひとりにあります。そんな高校生が震災後の福島で生きてきた時間を振り返り、「福島で生きること」に向き合い、自分が伝えたいことを探求し、そして最後に、自分が一番伝えたい想いを自分の言葉でプレゼンテーションし、福島の今や未来を多くの人に伝えています。

高校生のプレゼンテーションはこちらから



グループワーク



プレゼン大会

	修了者数	プレゼン大会開催日
令和2年度	22名	令和2年12月13日(日)
令和3年度	20名	令和4年1月9日(日)
令和4年度	19名	令和5年1月7日(土) 県内 令和5年3月4日(土) 東京都
令和5年度	18名	令和6年2月3日(土) 予定

「ふくしまナラティブ・キャラバン隊」実施概要

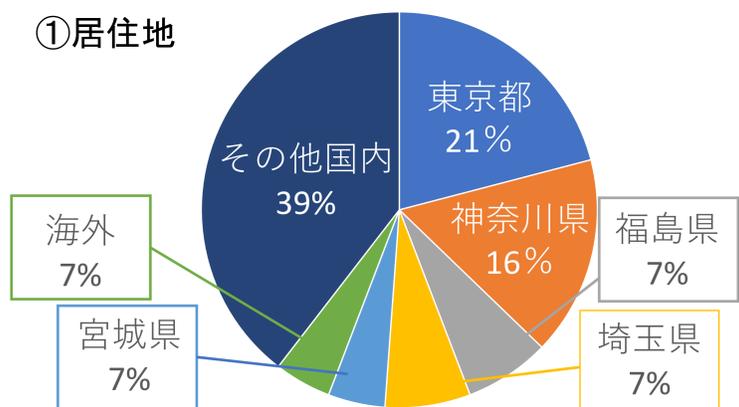
令和5年度は、過年度に本講座を修了し、プレゼン大会で発表した3人が「ふくしまナラティブ・キャラバン隊」を結成し、県外のショッピングモール等にブースを設け、来館者に自ら声を掛けながら「ふくしまへの想い」を語っています。修了生たちがより正確に福島県の復興の状況を発信するため、観覧者から福島県に関するアンケートを実施しました。

- 令和5年7月23日(日) ふくしまフェスタ(アーバンドックららぽーと豊洲)
- 令和5年8月14日(月) ・「どうしても福島が好きだ」(新宿住友ビル 三角広場)
・日本科学未来館
- 令和5年9月24日(日) まるごとふくしまフェス(有楽町駅前広場)
- 令和5年9月30日(土) ふくしまフェスタ(佐野プレミアムアウトレット)
- 令和5年11月26日(日) 東日本大震災と福島の経験を伝える(阪神淡路大震災 人と防災未来センター)

※一部予定(令和5年9月 日時点)

<アンケート結果(回答者数:43名)>

①居住地



「ふくしまナラティブ・キャラバン隊」活動の様子

- プレゼンテーションを聞いて、福島県について印象が変わったことがあれば教えてください。
 - ・若い人が頑張ってる姿を見て明るい未来があることを確信
 - ・震災を知らない娘にいい学びになったと思います。
- 福島県の風評の払拭、風化の防止のために必要なことは何だと思えますか？
 - ・今回のふくしまフェスタのように、話し伝えてくれると風化はしないと思えます。
- その他、福島県について思うことや、福島県をさらに盛り上げるためのアイデアがあれば教えてください！
 - ・東京に住む者として、原発事故について責任を感じています。決して事故を風化させないように努力したいと思えます。

まとめ

報道資料やデータの発信だけでは伝わりにくい当事者たちの想いを発信することは非常に効果的である。また若者の成長や発信力の高さも窺えたことから、今後も引き続き若者の経験や想いを発信していくことが望ましい。